

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 株式会社 ヤマザワ
 コード番号 9993 URL <http://www.yamazawa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森 美博
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日 配当支払開始予定日 平成20年12月5日

上場取引所 東

TEL 023-631-2211

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	46,126	—	1,183	—	1,196	—	411	—
20年3月期第2四半期	46,402	3.3	1,489	0.9	1,495	0.8	692	△8.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	37.85	—
20年3月期第2四半期	63.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	38,505	24,751	64.3	2,274.37			
20年3月期	39,233	24,495	62.4	2,250.77			

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 24,751百万円 20年3月期 24,495百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
21年3月期	—	13.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	13.50	27.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	1.1	2,300	△20.0	2,300	△20.7	1,000	△33.7	91.89

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	10,960,825株	20年3月期	10,960,825株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	78,238株	20年3月期	77,867株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	10,882,830株	20年3月期第2四半期	10,878,870株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項は、添付資料2～3ページをご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した国際的な金融市場の混乱、株価下落、加えて原油価格の高騰による物価上昇など、景気後退へと向っております。

小売業界におきましても、消費者の生活防衛意識の高まりによる消費の低迷や、競合の新規出店、企業間の価格競争、更に食品の安心安全に関する問題など厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては「**地域のお客様に繰り返し来店していただける店づくり**」に取り組むとともに、2年目となりました**中期経営計画**における施策の実行・検証を繰り返し行っております。

販売面におきましては、月間を通し特別価格で奉仕する「**生活応援セール**」をはじめ、「**月のはじめの元氣市**」、「**おどろきのびっくり価格**」、「**水曜均一セール**」などを開催、また相次ぐ商品値上げに対しての「**価格凍結**」や新たな企画として、「**”8”のつく日のヤマザワハッピーデー**」と位置づけての**価格訴求**を行なうなど販売強化を行なってまいりました。

商品面におきましては、「**地産地消**」の更なる推進のため、青果部門では**地場野菜コーナー**の店舗展開を拡大し、精肉部門においても山形牛の市場直接買い付けを行なうなど地元商品の販売拡大に努めております。

商品開発におきましては、当社惣菜部門並びにグループ会社(株)サンコー食品が共同で健康志向に配慮した弁当、惣菜の開発を積極的に行なっております。

また、環境保護活動の一環として**マイバック持参運動**を推進し、当期間におきましては、新たに行政並びに消費者団体とレジ袋無料配布見直しに関する協定を締結しております。レジ袋無料配布中止は平成20年7月1日より山形市内15店舗、仙台市内1店舗、9月1日より鶴岡市内3店舗で実施しており、今後も環境保護のために努めてまいります。

新たな取り組みといたしましては、お客様へのサービス向上と店舗運営コスト削減を目的に、平成20年7月**セルフレジ**を北町店(山形県山形市)に導入いたしました。また、お客様のご意見を更に取り入れて店舗運営を行なうため、日頃ご利用のお客様との**意見交換会**を松陵店(宮城県仙台市)にて開催しております。今後もさまざまなご意見をもとに改善を図ってまいります。

当期間はスーパーマーケット事業部門では既存店活性化のために平成20年6月新庄店(山形県新庄市)、同7月天童西店(山形県天童市)、同9月南陽店(山形県南陽市)及び天童中央店(山形県天童市)の4店舗の改装を実施いたしました。なお、城西店を新築移転のために、平成20年9月30日をもって一時閉店しております。

また、ドラッグ事業部門におきましては、調剤薬局南館店(山形県山形市)、調剤薬局山辺店(山形県山辺町)、ドラッグ県立中央病院前店(山形県山形市)の3店舗を新規出店いたしました。

当第2四半期累計期間の経営成績は、商品仕入価格の上昇による売上総利益率の低下、原油価格高騰などの経費増により、売上高は461億26百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は11億83百万円(同20.5%減)、経常利益は11億96百万円(同20.0%減)となりました。四半期純利益は一部子会社において繰延税金資産の回収可能性を勘案し、繰延税金資産の取り崩しを行なったこと等により4億11百万円(同40.5%減)となりました。

*前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期における総資産は 385 億 5 百万円となり、前連結会計年度末と比較し 7 億 28 百万円の減少となりました。

資産の部においては、リース会計基準の適用に伴うリース資産の計上、新店建設工事による建設仮勘定の増加等がありましたが、店舗建設代金の支払、借入金の返済等により現金及び預金が減少、また、繰延税金資産の一部取り崩しによる減少等となりました。

負債の部においては、買掛金、リース負債の計上による増加等がありましたが、借入金、未払金、商品券、未払法人税等の減少等となりました。

なお、純資産は 247 億 51 百万円となり、自己資本比率は 64.3%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 2 四半期における現金及び現金同等物の残高は 37 億 91 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 11 億 62 百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは 6 億 59 百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が、11 億 72 百万円となったこと及びたな卸資産の増加、未払金の減少、法人税等の支払等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは 12 億 4 百万円の支出となりました。これは主に店舗建設工事代金の支払等による有形固定資産の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは 6 億 17 百万円の支出となりました。これは主に借入金の返済及び配当金の支払によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましても、米国経済の減速による株価の下落、それに伴う景気後退等により、更に個人消費は低迷が続くものと思われます。また、競合の新規出店等でますます厳しい経営環境になるものと思われます。

通期の連結業績の見通しは、平成 20 年 5 月 8 日公表の業績予想を修正し、営業収益 920 億円（前年同期比 1.1%増）、営業利益 23 億円（同 20.0%減）、経常利益 23 億円（同 20.7%減）、当期純利益 10 億円（同 33.7%減）を見込んでおります。

平成 20 年 5 月 8 日公表の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

■平成 21 年 3 月期通期連結業績予想値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	92,000	2,900	2,900	1,550	142.43
今回発表予想(B)	92,000	2,300	2,300	1,000	91.89
増減額(B-A)	0	△600	△600	△550	—
増減率(%)	0.0	△20.7	△20.7	△35.5	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	91,036	2,874	2,899	1,508	138.65

詳細は、平成 20 年 10 月 31 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 18 年 7 月 5 日 企業会計基準第 9 号）を当第 1 四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益の低下による簿価切り下げの方法）に変更しております。なお、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③ リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 5 年 6 月 17 日 最終改正平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準第 13 号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成 6 年 1 月 18 日 最終改正平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準適用指針第 16 号）を当第 1 四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成 20 年 9 月 30 日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,161,701	5,323,702
受取手形及び売掛金	464,875	469,233
商品	3,328,868	3,246,589
製品	2,777	2,582
原材料	28,148	24,476
仕掛品	751	615
その他	1,435,153	1,408,258
貸倒引当金	△4,702	△5,015
流動資産合計	9,417,574	10,470,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,628,956	10,824,652
土地	12,889,740	12,858,771
その他(純額)	1,122,949	617,696
有形固定資産合計	24,641,645	24,301,121
無形固定資産	775,332	718,773
投資その他の資産	3,670,525	3,743,204
固定資産合計	29,087,503	28,763,099
資産合計	38,505,078	39,233,542

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成 20 年 9 月 30 日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成 20 年 3 月 31 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,923,105	5,759,165
短期借入金	1,050,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	512,000	528,000
未払法人税等	601,192	712,694
賞与引当金	426,500	440,500
役員賞与引当金	21,400	37,900
ポイント引当金	356,338	338,581
商品券回収損失引当金	42,927	54,491
その他	2,926,278	3,604,196
流動資産合計	11,859,743	12,725,528
固定負債		
長期借入金	250,000	500,000
退職給付引当金	403,756	394,613
役員退職慰労引当金	419,651	417,682
その他	820,907	700,688
固定負債合計	1,894,315	2,012,984
負債合計	13,754,058	14,738,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,388,717	2,388,717
資本剰余金	2,205,087	2,205,087
利益剰余金	20,256,348	19,991,398
自己株式	△88,977	△88,432
株主資本合計	24,761,176	24,496,770
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,157	△1,741
評価・換算差額等合計	△10,157	△1,741
純資産合計	24,751,019	24,495,029
負債純資産合計	38,505,078	39,233,542

(2) 四半期連結損益計算書

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

当第 2 四半期連結累計期間	
(自 平成 20 年 4 月 1 日	
至 平成 20 年 9 月 30 日)	
売上高	46,126,525
売上原価	33,284,651
売上総利益	12,841,873
販売費及び一般管理費	
給料	4,165,336
賞与引当金繰入額	416,136
役員賞与引当金繰入額	20,700
退職給付費用	54,924
役員退職慰労引当金繰入額	9,137
ポイント引当金繰入額	356,338
減価償却費	539,020
その他	6,096,492
販売費及び一般管理費合計	11,658,085
営業利益	1,183,787
営業外収益	
受取利息	7,801
受取配当金	5,944
その他	27,451
営業外収益合計	41,196
営業外費用	
支払利息	16,457
その他	12,175
営業外費用合計	28,632
経常利益	1,196,351
特別利益	
貸倒引当金戻入額	313
特別利益合計	313
特別損失	
固定資産除却損	3,942
減損損失	19,935
特別損失合計	23,878
税金等調整前四半期純利益	1,172,786
法人税、住民税及び事業税	631,237
法人税等調整額	129,679
法人税等合計	760,916
四半期純利益	411,870

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,172,786
減価償却費	589,254
減損損失	19,935
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,000
受取利息及び受取配当金	△13,745
支払利息	16,457
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△90,124
仕入債務の増減額 (△は減少)	163,940
その他	△422,366
小 計	1,422,137
利息及び配当金の受取額	10,726
利息の支払額	△16,723
法人税等の支払額	△756,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	659,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,151,496
敷金及び保証金の差入による支出	△30,524
敷金及び保証金の回収による収入	20,980
その他	△43,701
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,204,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000
長期借入金の返済による支出	△266,000
配当金の支払額	△146,919
その他	△4,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△617,161
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,162,001
現金及び現金同等物の期首残高	4,953,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,791,674

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号) 及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号) を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に伴い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

[参考資料]

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

(単位:千円)

区 分	前中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
	金 額
I 売上高	46,402,775
II 売上原価	33,418,488
売上総利益	12,984,286
III 販売及び一般管理費	
販売費及び一般管理費合計	11,494,949
営業利益	1,489,337
IV 営業外収益	
受取利息及び配当金	13,170
その他の営業外収益	24,640
営業外収益合計	37,810
V 営業外費用	
支払利息	19,234
その他の営業外費用	12,068
営業外費用合計	31,303
経常利益	1,495,844
VI 特別利益	
その他の特別利益	148
特別利益合計	148
VII 特別損失	
固定資産除却損	10,006
減損損失	112,222
投資有価証券評価損	60,794
商品券回収損失引当金繰入額	51,450
その他の特別損失	500
特別損失合計	234,974
税金等調整前中間純利益	1,261,018
法人税、住民税及び事業税	655,374
法人税等調整額	△86,837
中間純利益	692,481

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	1,261,018
減価償却費	558,873
減損損失	112,222
退職給付引当金の増加額	17,545
ポイント費用引当金の増加額	29,781
商品券回収損失引当金の増加額	39,729
賞与引当金の減少額	△2,400
役員賞与引当金の減少額	△13,850
受取利息及び配当金	△13,170
支払利息	19,234
有形固定資産除却損	10,006
投資有価証券評価損	60,794
売上債権の増加額	△29,422
たな卸資産の減少額	119,609
仕入債務の増加額	386,985
未払消費税等の増加額	53,051
その他流動資産の減少額	14,342
その他流動負債の減少額	△208,543
その他	△20,230
小 計	2,395,577
利息及び配当金の受取額	8,443
利息の支払額	△20,162
法人税等の支払額	△688,994
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,694,865
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△932,933
その他無形固定資産の取得による支出	△3,164
貸付金の回収による収入	600
保証金・敷金の支払による支出	△23,926
保証金・敷金の返還による収入	16,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△942,853
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減 (△) 額	△200,000
長期借入金の返済額	△266,000
自己株式の取得による支出	△4,245
自己株式の売却による収入	14,913
配当金の支払額	△122,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	△577,647
IV 現金及び現金同等物の増加額	174,363
V 現金及び現金同等物の期首残高	5,417,332
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	5,591,696